



ガード
ユーザ ガイド



ガード： ユーザ ガイド

発行日 水曜日, 17. 5 月 2017 バージョン 2.8.0

製作著作 © 2016-2017 OX Software GmbH , このドキュメントは OX Software GmbH の知的所有物です。

このドキュメントの全部または一部をコピーする場合、各コピーにこの著作権情報を明記する必要があります。このドキュメントの内容は細心の注意を払って編集されていますが、情報の誤りを完全に排除することはできません。OX Software GmbH、著者、および翻訳者は、記述の誤りとそれによって生じる結果について、いかなる責任も負うものではありません。このドキュメントで使用されるソフトウェアの名称およびハードウェアの名称は登録商標である可能性があり、無償での使用が保証されているものではありません。OX Software GmbH は原則的に、製造元によるつづりの表記に従います。このドキュメントでは（注釈を付記せずとも）ブランド名、商標、ロゴなどを使用していますが、（商標とブランド名に関する法律により、）これらのブランド名等を無償で使用できることを示すものではありません。

目次

1	このドキュメントについて	5
2	ガードの概要	7
3	使用説明ガード	9
3.1	セットアップガード	10
3.2	メールのやり取りを暗号化する	11
3.2.1	暗号化されたメールの閲覧	11
3.2.2	受信メールを暗号化	12
3.2.3	暗号化されたメールの送信	12
3.2.4	外部の宛先はどのように暗号化されたメールを閲覧するのか?	13
3.3	ファイルの暗号化	14
3.3.1	ファイルの暗号化	14
3.3.2	新しい暗号化ファイルの作成	15
3.3.3	暗号化ファイルを開く	15
3.3.4	暗号化ファイルのダウンロード	16
3.3.5	ファイルの復号	16
3.4	Officeドキュメントを暗号化	17
3.4.1	新しい暗号化ドキュメントの作成	18
3.4.2	選択したドキュメントを暗号化形式に保存します。	18
3.4.3	暗号化されたドキュメントを表示	19
3.5	サインアウトガード	20
3.6	ガード設定	21
3.6.1	ガードセキュリティ設定	22
3.6.2	PGP 暗号化設定	22
3.6.3	管理鍵	24
	索引	27

1 このドキュメントについて

このドキュメントを活用するために理解しておくべき情報を次のトピックごとに説明します。

- [このドキュメントの対象読者](#)
- [このドキュメントに記載されている内容](#)
- [その他のドキュメント](#)

このドキュメントの対象読者

このドキュメントは、許可されていないアクセスに対し、メールやファイルを保護するための暗号化機能を使用するユーザを対象にしています。

このドキュメントに記載されている内容

このドキュメントは、次の情報が含まれます。

- [ガードの概要](#)では、ガードの概要について説明します。
- [使用説明ガード](#)では、ガードの使用方法について説明します。

このドキュメントでは、グループウェアの一般的なインストール方法と構成方法について説明します。ご利用のグループウェアのインストールバージョンならびに構成によっては、記載の方法と異なる場合があります。

その他のドキュメント

グループウェアに関する全般的な情報は、Groupwareのユーザ ガイドを参照してください。

2 ガードの概要

ガードは、メールおよびファイルを暗号化するグループウェア セキュリティ コンポーネントの一つです。

- ユーザや外部の人とやりとりするメールを暗号化します。
- 単体ファイルを暗号化します。暗号化されたデータを他のユーザと共有します。
- セキュリティ オプションを使用して、暗号化レベルを指定します。
- 暗号化されたデータをパスワードで保護します。また、パスワードリセット機能を使用して、パスワードを紛失しても暗号化ファイルを処理します。

3 使用説明ガード

ガードアプリケーションの使用方法を次のトピックごとに説明します。

- 基本設定を[適用](#)
- メールを暗号化
- ファイルを暗号化
- Officeドキュメントを暗号化
- セキュリティ設定を[適用](#)

3.1 セットアップガード


使う前にガードの基本設定を適用しなければなりません。

- まず、ガード セキュリティパスワードを設定してください。そのパスワードはデータの暗号化と暗号化されたデータのデコードに使われます。
- 二番目のメールアドレスを入力します。このメールアドレスは、お使いのガード セキュリティパスワードを忘れたときに使用します。これには、ガード セキュリティパスワードのリセット機能を使用します。新しいパスワードが送信されます。セキュリティ上の理由により、二番目のメールアドレスを設定しておくことを強くお勧めします。設定しなければ、新しいパスワードが最初のメールアドレスに送信されます。


基本設定にはオプション2つあります。

- 初めて暗号化機能を使用するときに基本設定をセットアップする
- 初めて暗号化機能を使用する前に基本設定をセットアップする

初めて暗号化機能を使用するときに基本設定をセットアップする

1. フォルダツリー内のフォルダ名の隣の暗号化アイコン  をクリックし、メールの作成時、ファイルの暗号化時、または、新規ファイルのアップロード時で、暗号化機能を有効にします。
2. ガード セキュリティパスワードと二番目のメールアドレスを入力するよう、促されますので、データを入力します。

初めて暗号化機能を使用する前に基本設定をセットアップする

1. メニュー バーの右側にある システム メニュー アイコン  をクリックします。メニューで、設定の項目をクリックします。
2. サイドバーで、セキュリティをクリックします。
ガードセキュリティ設定を初めて開くと、セキュリティキーを作成ウィンドウが開きます。
3. パスワード フィールドで、データを暗号化するためのパスワードを入力します。
確認 フィールドで、同じパスワードを再度入力します。
4. 新しい二番目のメールを入力フィールドに、ガード セキュリティパスワードのリセット用の仮パスワードを受け取るためのメールアドレスを入力します。
5. OK をクリックします。

3.2 メールのやり取りを暗号化する


次のようなオプションの機能があります。

- 暗号化されたメールの閲覧
- 受信メールを暗号化
- 暗号化されたメールの送信
- 外部の宛先はどのように暗号化されたメールを閲覧するのか？

3.2.1 暗号化されたメールの閲覧

暗号化されたメールを閲覧するには、ガードセキュリティパスワードが必要です。暗号化されたメールの差出人は、追加のパスワードでメールを保護できます。

暗号化されたメールを閲覧する

1. 暗号化 アイコン  が付いたメールを選択します。詳細ビューで、セキュアなメールです。Guard セキュリティ パスワードを入力してください。 の通知が表示されます。
注：最後に ガード セキュリティパスワードを覚えるように設定した場合、メールが設定によって、すぐに表示されます。
2. ガード セキュリティパスワードを入力します。
セキュリティパスワードをガードが記憶する期間を指定できます。これには、ログインを保持ガードを有効にします。一覧から時間範囲を選択します。
PGP暗号化設定で、時間範囲の既定値を指定できます。
3. OK をクリックします。内容がテキストで表示されます。
メールにファイルが添付されている場合、添付されたファイルの暗号化バージョンや復号されたバージョンを使う機能が表示されます。

注： 暗号化されたメールを使用している場合は、このメールに返信したり、転送のみできます。

詳細は、 を参照してください。

受信メールを暗号化 (p. 12)


暗号化されたメールの送信 (p. 12)

外部の宛先はどのように暗号化されたメールを閲覧するのか？ (p. 13)

3.2.2 受信メールを暗号化

全ての受信メールを自動で暗号化するように設定できます。

受信メールを暗号化する：

1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。メニューで、**設定**の項目をクリックします。
2. サイドバーで、**セキュリティ**項目を選択します。**詳細設定**をクリックします。
3. **PGP の上級機能を有効にしますを必ず有効にしてください。**
全ての受信メールを暗号化を有効にします。

詳細は、を参照してください。

[暗号化されたメールの閲覧 \(p. 11\)](#)

[暗号化されたメールの送信 \(p. 12\)](#)


[外部の宛先はどのように暗号化されたメールを閲覧するのか? \(p. 13\)](#)

3.2.3 暗号化されたメールの送信

次のようなオプションの機能があります。

- 暗号化されたメールの送信。差出人と宛先しかメールの内容を読めません。
警告： 暗号化されたメールの下書きを送信する場合は、**下書き フォルダ**から送信されたと同時に削除されます。
- 署名付きのメールを送信。署名を付けることによって宛先は通信中のメール内容が変わったかどうかを判断することができます。
- 署名付きの暗号化されたメールの送信。

暗号化されたメールを送信する

1. メールアプリケーションの中でメールを作成してください。
作成ページで、右上の**暗号化アイコン**  をクリックします。
件名下の **セキュリティ** をクリックすることもできます。**暗号化**を有効にする
宛先の横のアイコンは、メッセージがこの宛先用に暗号化可能かどうかを示しています。アイコン上にマウス ポインタを置くと、内容が表示されます。
2. 追加オプションを表示するには、**セキュリティ**をクリックします。次のオプションを起動できます。
メールの署名を可能にするために**サイン**を有効にしてください。
宛先のメールクライアントがPGPに対応しなくてもメールの内容が読めるようにするために**インライン PGP**を有効にしてください。この場合はHTML形式のメールを送信することはできません。
メールの宛先が暗号化された返信を送るようには、**公開鍵**を添付ファイルで送ります。自分の**公開鍵**を添付ファイルとして送信できます。これを行うには、**鍵**を添付を有効にします。
3. **暗号化送信**をクリックします。
外部の宛先に送信するとき、**暗号化されたメールを開くときの注意事項 [13]** を外部の宛先に送信するためのウィンドウが表示されます。
最初の暗号化されたメールをこの外部の宛先に送ると、外部の宛先には**公開鍵**付きの添付が届きます。

詳細は、を参照してください。

[暗号化されたメールの閲覧 \(p. 11\)](#)

[受信メールを暗号化 \(p. 12\)](#)

[外部の宛先はどのように暗号化されたメールを閲覧するのか? \(p. 13\)](#)

3.2.4 外部の宛先はどのように暗号化されたメールを閲覧するのか？

グループウェアのユーザでない外部の宛先に、暗号化されたメールを送信することもできます。外部の宛先を追加するとき、Guardが公開鍵がこの宛先に利用可能かどうかを確認します。その結果により、Guardは暗号化されたメールの送信手順を変更します。

- 宛先用に公開鍵がある場合：
 - メッセージはこの鍵で暗号化されて送られます。宛先は、自分の秘密鍵のついたメッセージを閲覧できます。
 - 宛先が暗号化された返信を送るようになるには、公開鍵を添付ファイルで送ります。添付ファイルはpublic.asc.となります。宛先は、この鍵を自分のメールクライアントにインポートできます。
- 宛先用に公開鍵がない場合：
 - 外部のユーザがすでにゲストアカウントを持っている場合、ユーザはゲストアカウントのログインページにリンク付きのメールを受け取ります。ログインすると、ゲストページで暗号化されたメールを読むことができます。ユーザはこのページから暗号化された返信を送信できます。
 - ゲストアカウントがない場合は、ゲストアカウントを作成されます。ゲストページへのリンクが添付されたメールと自動作成されたパスワードを外部の宛先に送信します。ユーザがゲストページにログインします。その後、自分のパスワードを作成できます。
設定によっては、自動作成されたパスワードとゲストページへのリンクは別のメールで送信されません。
 - グループウェア構成によって、ゲストアカウントメールは設定日数を過ぎると削除されます。削除されたメールを利用できるように、ゲストページにリンクのはったメールには、暗号化されたメールに添付ファイルがついています。添付ファイルはencrypted.asc.です。この添付ファイルはゲストページでアップロードしたり、閲覧できます。

詳細は、 を参照してください。

[暗号化されたメールの閲覧 \(p. 11\)](#)

[受信メールを暗号化 \(p. 12\)](#)

[暗号化されたメールの送信 \(p. 12\)](#)

3.3 ファイルの暗号化

次のようなオプションの機能があります。



- ファイルの暗号化
- 新しい暗号化ファイルの作成
- 暗号化ファイルを開く
- 暗号化ファイルのダウンロード
- ファイルの復号

3.3.1 ファイルの暗号化

ファイルの暗号化時には、そのファイルの最新バージョンのみが暗号化されます。その他のすべてのバージョンは削除されます。

ファイルを暗号化する

警告： ファイルの暗号化時には、そのファイルの最新バージョン以外のすべてのバージョンが削除されます。過去のバージョンを維持するには、ファイルの暗号化前に保存してください。

1. ドライブアプリケーションの1つまたは複数のファイルを選択します。ツールバーの**アクション** アイコンをクリックします。メニューで **暗号化** をクリックします。
アクション アイコン  を使用できます。メニューで **暗号化** をクリックします。
2. ファイルが複数のバージョンを含む場合、**ファイルを暗号化** ウィンドウが表示されます。ファイルの暗号化と過去のすべてのバージョンの削除を確定するには、**OK** をクリックします。
ファイルのバージョンは1つしかない場合は何も求められずに暗号化されます。

詳細は、 を参照してください。

- [新しい暗号化ファイルの作成 \(p. 15\)](#)
- [暗号化ファイルを開く \(p. 15\)](#)
- [暗号化ファイルのダウンロード \(p. 16\)](#)
- [ファイルの復号 \(p. 16\)](#)

3.3.2 新しい暗号化ファイルの作成

ローカル ファイルを暗号化した上でアップロードすることによって、新しい暗号化ファイルを作成できます。

新しい暗号化ファイルを作成する

1. ドライブアプリケーションで、フォルダツリーのフォルダを選択します。
注： オブジェクトを作成する権限のあるフォルダを開いてください。
2. ツールバーで、**新規** をクリックします。**ローカルファイルを追加および暗号化** をクリックします。
3. **更新ファイル** ウィンドウの1つまたは複数のファイルを選択します。
開く をクリックします。表示エリアには現在の進行ステータスが表示されます。
処理をキャンセルするには、表示エリアの右側下にある**ファイル詳細** をクリックします。**読み込み進行** ウィンドウで、ファイル名横の**キャンセル** をクリックします。

ヒント： お使いのオペレーティング システムのデスクトップからファイルをドラッグし、**ドライブ アプリケーション** ウィンドウの上部にドロップすることでも、新しい暗号化ファイルを作成できます。


詳細は、 を参照してください。

- [ファイルの暗号化 \(p. 14\)](#)
- [暗号化ファイルを開く \(p. 15\)](#)
- [暗号化ファイルのダウンロード \(p. 16\)](#)
- [ファイルの復号 \(p. 16\)](#)

3.3.3 暗号化ファイルを開く

暗号化されたファイルを開き、閲覧できます。ファイルは、サーバ上で暗号化されたままになります。

暗号化されたファイルを開く

1. **ドライブ アプリケーション**で、表示エリアの暗号化ファイルを選択します。ツールバーで、**ビューア** アイコン  をクリックします。
2. セキュリティパスワードを入力ウィンドウが開きます。ガード セキュリティパスワードを入力します。セキュリティパスワードをガードが記憶する期間を指定できます。指定するには、**パスワードを記憶** を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
PGP暗号化設定で、時間範囲の**既定値を指定**できます。
OK をクリックします。



詳細は、 を参照してください。

- [ファイルの暗号化 \(p. 14\)](#)
- [新しい暗号化ファイルの作成 \(p. 15\)](#)
- [暗号化ファイルのダウンロード \(p. 16\)](#)
- [ファイルの復号 \(p. 16\)](#)

3.3.4 暗号化ファイルのダウンロード

暗号化ファイルをローカルにダウンロードし、閲覧または編集できます。ファイルは、サーバ上で暗号化されたままになります。

暗号化されたファイルをダウンロードする

1. ドライブ アプリケーションで、表示エリアの暗号化ファイルを選択します。ツールバーで、**ビューア** アイコン  をクリックします。
注: ポップアップで、**ダウンロード** をクリックすると、ダウンロードされたファイルが暗号化されたままになります。
2. セキュリティパスワードを入力ウィンドウが開きます。ガード セキュリティパスワードを入力します。セキュリティパスワードをガードが記憶する期間を指定できます。指定するには、**パスワードを記憶を有効に** します。一覧から目的の値を選択します。
PGP暗号化設定で、時間範囲の**既定値を指定** できます。
OK をクリックします。
3. ビューアの**アクション** アイコン  をクリックします。**復号されたファイルをダウンロード** をクリック します。


詳細は、[こちら](#) を参照してください。

- [ファイルの暗号化 \(p. 14\)](#)
- [新しい暗号化ファイルの作成 \(p. 15\)](#)
- [暗号化ファイルを開く \(p. 15\)](#)
- [ファイルの復号 \(p. 16\)](#)

3.3.5 ファイルの復号

ファイルを復号すると、ファイルの暗号を解除できます。

ファイルを復号する

1. ドライブ アプリケーションで、表示エリアの暗号化ファイルを選択します。ツールバーの**アクション** アイコン  をクリックします。メニューで、**暗号化を削除** をクリックします。
2. セキュリティパスワードを入力ウィンドウが開きます。ガード セキュリティパスワードを入力します。ガード セキュリティパスワードを記憶する期間を指定できます。指定するには、**パスワードを記憶を有効に** します。一覧から目的の値を選択します。
PGP暗号化設定で、時間範囲の**既定値を指定** できます。
OK をクリックします。

詳細は、[こちら](#) を参照してください。

- [ファイルの暗号化 \(p. 14\)](#)
- [新しい暗号化ファイルの作成 \(p. 15\)](#)
- [暗号化ファイルを開く \(p. 15\)](#)
- [暗号化ファイルのダウンロード \(p. 16\)](#)

3.4 Officeドキュメントを暗号化

次のようなオプションの機能があります。

- 新しい暗号化ドキュメントの作成
- 選択したドキュメントを暗号化形式に保存します。
- 暗号化されたドキュメントを表示

追加機能が **ドライブ アプリケーション** で利用可能です:

- **暗号化** 既存のドキュメント
- **復号** ドキュメント

3.4.1 新しい暗号化ドキュメントの作成

新規ドキュメントの作成時に、暗号化されて保存されるドキュメントの作成オプションがあります。

新しい暗号化ドキュメントを作成する：

1. 暗号化テキストドキュメント、スプレッドシート、またはプレゼンテーションを作成したいかどうかによって、以下のアプリケーションの一つを選択します：テキスト、スプレッドシート または プレゼンテーション
2. Office メニューバーで、**新規テキストドキュメント（暗号化）**、**新規スプレッドシート（暗号化）**、**新規プレゼンテーション（暗号化）**の各ボタンの一つをクリックします。
3. セキュリティパスワードを入力ウィンドウが開きます。ガード セキュリティパスワードを入力します。セキュリティパスワードをガードが記憶する期間を指定できます。指定するには、パスワードを記憶を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
PGP暗号化設定で、時間範囲の既定値を指定できます。
OK をクリックします。

詳細は、 を参照してください。

[選択したドキュメントを暗号化形式に保存します。](#) (p. 18)

[暗号化されたドキュメントを表示](#) (p. 19)

[ファイルの暗号化](#) (p. 14)

3.4.2 選択したドキュメントを暗号化形式に保存します。

テキストドキュメント、スプレッドシートまたはプレゼンテーションを表示されている時、このドキュメントを暗号化形式で保存できます。

選択したドキュメントを暗号化形式に保存する：

1. ドキュメントをテキスト、スプレッドシートまたはプレゼンテーションアプリケーションで開きます。
2. ファイルツールバーで、**Drive**に**保存**をクリックします。(暗号化)として保存を選択します。
(暗号化)として保存ウィンドウが開きます。フォルダとファイル名を選択します。OK をクリックします。
3. セキュリティパスワードを入力ウィンドウが開きます。ガード セキュリティパスワードを入力します。セキュリティパスワードをガードが記憶する期間を指定できます。指定するには、パスワードを記憶を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
PGP暗号化設定で、時間範囲の既定値を指定できます。
OK をクリックします。

詳細は、 を参照してください。

[新しい暗号化ドキュメントの作成](#) (p. 18)

[暗号化されたドキュメントを表示](#) (p. 19)

[ファイルの暗号化](#) (p. 14)



3.4.3 暗号化されたドキュメントを表示

暗号化されたドキュメントを表示して、以下のことができます。

- ドキュメントの閲覧や編集
- 復号形式でドキュメントをダウンロード
- 復号形式でPDFとしてドキュメントを印刷

ドキュメントは、サーバ上で暗号化されたままになります。

暗号化されたドキュメントを表示：

1. ドキュメントをテキスト、スプレッドシートまたはプレゼンテーションアプリケーションで開きます。
2. セキュリティパスワードを入力ウィンドウが開きます。ガードセキュリティパスワードを入力します。セキュリティパスワードをガードが記憶する期間を指定できます。指定するには、パスワードを記憶を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
PGP暗号化設定で、時間範囲の既定値を指定できます。
OK をクリックします。
3. ここでは、次の機能が利用できます。
 - ドキュメントを編集情報はDocumentsユーザガイドを参照してください。
 - 復号形式でドキュメントをダウンロードするには、ツールバーのダウンロードアイコン  をクリックします。
 - 復号形式でPDFとしてドキュメントを保存するには、PDFとして保存アイコン  をクリックします。

詳細は、[こちら](#) を参照してください。

[新しい暗号化ドキュメントの作成 \(p. 18\)](#)

[選択したドキュメントを暗号化形式に保存します。 \(p. 18\)](#)


[ファイルの暗号化 \(p. 14\)](#)

3.5 サインアウトガード

グループウェアを閉じずに **ガード** からサインアウトできます。サインアウト後に暗号化されたメール、ファイル、フォルダを開くには、**ガード** セキュリティパスワードを再度入力します。

注：この機能は、暗号化されたメールやファイルを開いたときに**パスワードを記憶を有効にしたときのみ**、適用されます。

ガードからサインアウトする：

1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー** アイコン  をクリックします。
2. メニューで、**サインアウト**をクリックします。

3.6 ガード設定

次のようなオプションがあります。


- ガードセキュリティパスワードを管理するには、[ガードセキュリティ設定](#)を使用します。
- 安全なメールを送信するための初期設定を変更するには、[PGP 暗号化設定](#)を使用します。
- [PGP鍵](#)を管理することができます

3.6.1 ガードセキュリティ設定


次のようなオプションがあります。

- ガード セキュリティパスワードを**変更**
- ガードセキュリティパスワードを失った場合、ガードセキュリティパスワードを**リセット**することで一時ガードセキュリティパスワードを要求できます。
- 二番目のメールアドレスを **変更**


ガードセキュリティパスワードの変更方法

1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。メニューで、**設定**の項目をクリックします。
2. サイドバーで、セキュリティ項目をクリックします。
3. パスワードの下の**現在のセキュリティパスワード**の入力フィールドに今までデータの暗号化に使用してきたパスワードを入力します。
新しい**セキュリティパスワード**の入力フィールドにこれからデータの暗号化に使用したいパスワードを入力します。
新しい**セキュリティパスワード**を確認フィールドに再度入力してパスワードを確認します。
4. **セキュリティパスワードを変更**をクリックします。

ガードセキュリティパスワードのリセット方法：

1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。メニューで、**設定**の項目をクリックします。
2. サイドバーで、セキュリティ項目をクリックします。
3. **セキュリティパスワードをリセット**をクリックします。二番目のメール アドレスに新しいパスワードが送信されます。
二番目のメール アドレスが入力されていない場合、新しいパスワードが既定のメール アドレスに送信されます。
4. この新しいパスワードが現在の **ガード セキュリティパスワード**となります。すぐにこのパスワードを**変更**してください。

暗号化パスワードをリセットするための二番目のメールアドレスを変更する

1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。メニューで、**設定**の項目をクリックします。
2. サイドバーで、セキュリティ項目をクリックします。
3. **二番目のメールアドレス**の下の**現在のセキュリティパスワード**を入力フィールドにデータの暗号化に使用しているパスワードを入力します。
新しい**二番目のメール**を入力フィールドに、ガード セキュリティパスワードのリセット用の仮パスワードを受け取るためのメールアドレスを入力します。
メールの変更をクリックします。

詳細は、を参照してください。


[PGP 暗号化設定 \(p. 22\)](#)

[管理鍵 \(p. 24\)](#)

3.6.2 PGP 暗号化設定

PGP 暗号化設定は、メール作成時に利用可能な規定の設定を指定します。新規メール作成時、初期設定の調整をメール送信前に行えます。

PGP の暗号化設定を変更する

1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。メニューで、**設定**の項目をクリックします。
2. サイドバーで、**セキュリティ**項目を選択します。**詳細設定**をクリックします。
3. **PGP 暗号化設定**下の設定を変更します

次の設定が利用できます。

既定のパスワードを記憶

ガードの既定の時間範囲を指定して、パスワードを記憶します。お使いのガードパスワードを聞かれた時にこの既定のパスワードを変更できます。

メールの作成時に暗号化をデフォルトにする

新規メールをデフォルトごとにPGPで暗号化するかどうかを指定する

送信メールヘサインの追加をデフォルトにする

新規メールをデフォルトごとにPGPで暗号化するかどうかを指定する

PGP の上級機能を有効にします。

全てのPGP機能を表示するかどうかを指定します。

全ての受信メールを暗号化

全ての受信メールを既定ごとのPGPで暗号化するかどうかを指定します。

新規メールにインライン PGP 使用をデフォルトにする

PGP 暗号化がインラインで行えるかどうかを指定します。宛先のメールクライアントがPGPサポートされていない場合はこの設定だけを使用してください。メッセージは読むことができます。この場合はHTML形式のメールを送信することはできません。

詳細は、を参照してください。

[ガードセキュリティ設定 \(p. 22\)](#)


[管理鍵 \(p. 24\)](#)

3.6.3 管理鍵

暗号化されたメッセージの送受信には、管理鍵の機能は基本的には必要ありません。この機能は以下の要件については使用可能です。

- ローカルメールクライアントなどの他のメールクライアントでガード PGP鍵を使用したい。
- PGPアプリケーションからのPGP鍵がある。その鍵を **ガード** で使用したい。
- 外部パートナーの公開鍵を持っている。この外部パートナーからの暗号化されたメッセージを鍵サーバーにアクセスせずに読むために、パートナーの公開鍵を **ガード** にインポートしたい。
- 受信者が鍵サーバーにアクセスせずに暗号化されたメッセージにアクセスして読むために、受信者に自分の公開鍵を提供したい。

自分の鍵を管理するページを開ける方法：

1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。メニューで、**設定** の項目をクリックします。
2. サイドバーで、**セキュリティ**項目を選択します。**詳細設定**をクリックします。
PGP の上級機能を有効にしますを有効にします。

このページでは、次の要素があります。

- **ガード の既定設定**を変更するオプション
- **あなたの鍵**セクション。秘密と公開 PGP 鍵を管理する機能が含まれます。
既存の鍵はあなたの**鍵**リスト下に表示されます。鍵リストには2つの鍵があります。
 - **マスター鍵**特に、この鍵はメールの署名に使用されます。
 - **サブ鍵**この鍵は、メールおよびファイルの暗号化および復号化に使用されます。
マスター鍵とサブ鍵の違いは、PGP暗号化技術の特徴の1つです。各マスター鍵およびサブ鍵には、公開鍵と秘密鍵があります。目的に応じて、ガードは自動でそれぞれの鍵を使用します。
- **公開鍵**セクション。あなたまたは他のユーザと共有している公開鍵を表示。ユーザの公開鍵がこのリストに表示されている場合、このユーザに暗号化して送信したメールを復号することができるとみなせません。
- 期限の切れた鍵は赤で表示されます。

次の機能が利用できます。

- 自分の公開鍵を**ダウンロード**する
- **メールごとに自分の公開鍵を送信**する
- ローカル鍵をアップロードしたり、新しい **ガード** 鍵を作成して既存の鍵に**新しい鍵を追加**する
- **鍵を現在の鍵に変更**する
- **鍵の詳細**を表示する
- **鍵を削除**する
- 自分の秘密鍵を**ダウンロード**する
- **鍵にメールアカウントを追加**する
- 外部パートナーの公開鍵を**アップロード**する

自分の公開鍵のダウンロード方法：

1. 設定で鍵を管理するページを開けます。
2. Click on **あなたの鍵**の下にある**自分の公開鍵**をクリックします。

メールごとに自分の公開鍵を送信する方法：

1. 設定で鍵を管理するページを開けます。
2. **あなたの鍵**の下にある**公開鍵をメールする**をクリックします。

新しい鍵を自分の鍵に追加する方法：

1. 設定で鍵を管理するページを開けます。
2. あなたの鍵の下にある **+** 鍵リスト横の追加アイコンをクリックします。鍵の追加 ウィンドウが開きます。
3. 次のようなオプションの機能があります。
 - 秘密鍵の追加には、**秘密鍵をアップロードする**をクリックします。秘密鍵を含むファイルを選択してください。秘密鍵のアップロードウィンドウが開きます。
新しい鍵のアップロードには、ガードセキュリティパスワードを入力してください。新しい鍵用の新しいパスワードを入力します。
 - 公開鍵の追加の場合、**公開鍵のみを追加する**をクリックします。公開鍵を含むファイルを選択してください。
 - 新しい鍵ペアを作成する場合は、**新しい鍵を作成する**をクリックします。セキュリティ鍵作成ウィンドウが開きます。
新しい鍵用のパスワードを入力します。パスワードを確認してください。
新しい鍵にはマスター鍵と該当するサブ鍵があります。
新しい鍵はあなたの鍵リストの一番上に入力されます。新しい鍵が現在の鍵になります。

鍵を現在の鍵にする：

あなたの鍵リストに複数のマスター鍵とサブ鍵がある場合にこの機能が使用できます。この後、現在の鍵が暗号化に使用されます。

1. 設定で鍵を管理するページを開けます。
2. あなたの鍵リストの中で、**現在の下の鍵の横にあるチェックボックス**をクリックします。マスター鍵を現在の鍵に変更するときに、対応するサブ鍵に現在のもの、またはその逆に印が付けられます。

鍵の詳細を表示する：

鍵の詳細を表示できます。鍵の詳細は、PGP知識のあるユーザには特に必要です。

1. 設定で鍵を管理するページを開けます。
2. 詳細アイコン **Q** をクリックします。鍵の詳細ウィンドウが開きます。鍵の署名を見るには、**署名**をクリックします。

鍵を削除する

1. 設定で鍵を管理するページを開けます。
2. 削除 アイコン **■** をクリックします。秘密鍵の削除ウィンドウが開きます。
3. 次のようなオプションの機能があります。
 - 秘密鍵を無効にするには、**無効**をクリックします。
秘密鍵用のパスワードを入力します。必要であれば、鍵を無効にする理由を選択します。
無効をクリックします。
 - 秘密鍵を削除するには、**削除**をクリックします。
秘密鍵用のパスワードを入力します。
削除 ボタンをクリックします。
マスター鍵を削除すると、対応するサブ鍵も削除されます。


秘密鍵のダウンロード方法：

注意：秘密鍵をご自分のローカルマシンにダウンロードするのは、安全上のリスクを生じる可能性があります。他の誰もご自分の秘密鍵にアクセスできないことを確認してください。


1. 設定で鍵を管理するページを開けます。
2. あなたの鍵の中の秘密鍵リストにある鍵の隣のダウンロードアイコン **↓** をクリックします。

鍵にメールアドレスを追加する：

追加のユーザIDを鍵に追加すると、鍵を複数のメール アカウントに使用できます。

1. 設定で鍵を管理するページを開きます。
2. 編集アイコン  をクリックします。ユーザID追加ウィンドウが開きます。
3. ユーザID名を入力します。この鍵に使用したいメールアドレスを入力します。
鍵のパスワードを入力してください。
OK をクリックします。

外部パートナーの公開鍵のアップロード方法：

1. 設定で鍵を管理するページを開きます。
2. 追加アイコン  をクリックします。公開鍵を含むファイルを選択してください。

詳細は、 [こちら](#) を参照してください。

[ガードセキュリティ設定 \(p. 22\)](#)

[PGP 暗号化設定 \(p. 22\)](#)

索引

シンボル

- >ガード, 7
- ガード, 9
 - PGP 暗号化設定, 22
 - のセットアップ, 10
 - サインアウト, 20
 - セキュリティ設定, 22
 - 管理鍵, 24
 - 設定, 21
- ガード Guard PGP 設定
 - PGP の上級機能を有効にします, 23
 - メール送信の署名付きをデフォルトにする, 23
 - 全ての受信メールを暗号化, 23
 - 新規メールにインライン PGP 使用をデフォルトにする, 23
 - 既定のパスワードを記憶, 23
- ガードGuard PGP 設定
 - メール作成時に暗号化をデフォルトにする, 23
- ガード設定
 - パスワードのリセット, 22
 - パスワードの変更, 22
- サイン アウト
 - パスワードの変更, 20
- ドキュメント, 5
- パスワードのリセット, 22
- パスワードの変更, 22
- ファイルの暗号化, 14
- ファイルを復号する, 16
- メールのやり取りを暗号化する, 11
- 新しい暗号化ドキュメントを作成する, 18
- 新しい暗号化ファイルを作成する, 15
- 暗号化
 - Officeドキュメントを暗号化, 17
 - ファイル, 14
 - 新しい暗号化ファイルの作成, 15, 18
 - 選択したドキュメントを暗号化形式に保存, 18
- 暗号化されたドキュメントを表示します。 , 19
- 暗号化されたメール
 - 受信メールを暗号化する, 12
 - 外部の宛先へのアクセス, 13
 - 拒否する, 12
 - 読む, 11
 - 送信する, 12
- 暗号化する
 - メールのやり取りを, 11
- 暗号化ドキュメント
 - 開く, 19
- 暗号化ファイル
 - ダウンロード, 16
 - 復号, 16
 - 開く, 15
- 暗号化ファイルをダウンロードする, 16
- 暗号化ファイルを開く, 15
- 選択したドキュメントを暗号化形式に保存します。 , 18

0

Officeドキュメントを暗号化します。 , 17
